鎌倉商工会議所　平成３０年度経営発達支援事業
成果・評価・見直しの結果について

去る令和元年８月２０日、「経営発達支援計画評価・検証委員会」を開催し、平成２７年１２月に経済産業省から認定された経営発達支援計画に基づき当所で実施した平成３０年度経営発達支援事業について実績報告を行い、事業の成果に対する評価・アドバイスをいただいた。

上記委員会の評価・アドバイスを受けて、「所内役席会議」を開催し、次年度の事業実施における改善点を検討、下記の通りそのポイントを確認した。

【委員会の評価】

経営発達支援事業のゴールといえる「個々の小規模事業者の売上・利益アップ」については、売上増加 114 社、粗利増加 112 社という成果を出せており大いに評価できる。

今後も継続してこのような成果を出していくためには、支援対象者の掘り起こしが重要になってくるので、その点を意識して次年度以降の経営発達支援事業の取り組みを推進してもらいたい。

また、事業承継については、引き続き関係機関と連携しながら、円滑な事業承継のサポートを推進してもらいたい。

【今後の方針】

①「支援対象事業者の掘り起こし」

コワーキングスペース・シェアオフィス・不動産業者・青色申告会・金融機関・保険代理店等との連携強化に加えて、新規事業として異業種交流会を実施する（年 3 回程度）。

これにより、リアルの店舗や拠点などを持たないフリーランス・個人事業主の方の取り込みを含めて、これまで当所と縁のなかった小規模事業者との接点を増やしていく。

②「特定分野の支援力アップ」

具体的には、近年の小規模事業者を取り巻く環境上、持続的発展の寄与に必要不可欠な「Web マーケティング」「事業承継」の支援レベルを引き上げていく。

経営指導員を支援機関向けの研修やセミナー（主催セミナー含む）に参加させることはもちろん、個者支援スキルアップ研修（月 2 回）において、それらに参加した経営指導員から全経営指導員に内容をフィードバックすることを徹底する。これにより、単なる情報共有だけでなく、双方向のコミュニケーションにより理解を深めて、すべての経営指導員が現場の支援で使えるスキルのベースアップをしていく。

さらに、「事業承継」「Web マーケティング」の担当指導員をそれぞれ 2 名程度定め、民間のセミナーへの積極的な派遣や担当指導員同士の勉強会の開催により、他の指導員より高いレベルでスキルアップさせながら、現場では「事業承継」「Web マーケティング」の支援に積極的に関与させる。

もちろん、相談案件の内容によって専門家も積極的に活用していくが、特定業務の担当指導員制度により、中長期的に組織内部に支援ノウハウを蓄積していくことで、よりスピーディーで効果的な相談対応を目指していく。

これらの取り組みにより、これまで以上に自信を持って「事業承継」「Web マーケティング」の支援にあたっていくことで、より多くの小規模事業者の事業承継や業績向上につなげていく。

以上